

学年「知識」通信

愛西市立立田中学校

第 1 学 年

2020.5.25 No. 3

自粛生活でたくさんのことを学びました！

4月8日から5月24日の約二ヵ月間、緊急事態宣言を受けて休校になりました。1日でも早く収束することを願い毎日過ごしたことと思います。感染するリスクを心配しながら、二ヵ月が過ぎました。この自粛生活で家族の絆が深まり、子供たちの素直で純粋なところをいろいろな場面で見ることができたと思います。我が家では、小学校から配付された課題をこなし、自分たちで決めた運動でリフレッシュをしたり、食生活では、母親の手伝いをしながら料理の大変さや楽しさを学ぶことができたりしました。本来は、オリエンテーション合宿で、ロングハイキング、野外炊飯でのカレーライス作り、学年レクリエーションと盛り上がるはずでした。どれも充実した中学校生活にするために必要なものだったのですが、この経験ができなかった今年度は「時を守り、場を清め、礼を正す」ということを一人一人が日常生活の中で自主的・自発的に実践することがとても重要になります。コロナに負けない力を身につけ、たくましく、そして思いやりをもった中学1年生になってほしいと思います。大いに期待しています。コロナのせいにしたくない。

自粛生活中的生徒の様子（イメージ）



中学校で初めての中間テストがあります！

7月27日（月）・28日（火）に中間テストを予定しています。中学入学後の初めての定期テストです。このテストの取り組みが、今後の学習への心構えを作る上でとても重要と考えています。7月13日（月）には「テスト範囲表・テスト計画表」を配付する予定です。学力をつける上で、家庭学習がとても重要になってきます。こつこつ継続した学習の積み上げこそが、確かな学力をはぐくみます。コロナで失われたものを少しずつ取り戻しましょう！

保護者のみなさまへ

○ 6月より立田中学校では、夏服になります。当面の間は、体操服登下校です。夏服を着用する機会になりましたら連絡します。夏服の用意をしておいていただければと思います。よろしくお願いします。

不当な差別や偏見をなくそう！

医療従事者やその御家族が不当な差別的取扱いを受けるなど悲しい事例が報道されています。国民が一丸となって感染の拡大に立ち向かうべきときに、こうした方々を傷付けるような不当な差別や偏見は決してあってはなりません。感染者やその属する施設・機関あるいは、我が国に居住する外国人の方々等に対する誤解や偏見に基づく差別もあってはならないものです。一方で、休業や外出の自粛が要請されている中で、家庭内でのトラブルも心配されています。法務省の人権擁護機関では、差別などの様々な人権問題について、電話やインターネットで相談を受け付けているそうです。インターネットによるメール相談もあります。生徒の皆さんは、フリーダイヤル「子どもの人権110番」やスマートフォンからも利用可能な「子どもの人権SOS-eメール」を活用してください。また、学校の方にも遠慮なくご相談ください。小さなことでも構いません。今をみんなで乗り切って自分の力をつけていきましょう！